

第3回東大阪市上下水道事業経営審議会 議事概要

1. 開催概要

日 時	令和6年10月18日(金) 10:00~12:20
場 所	東大阪市上下水道局 水道庁舎 2階 第1会議室
出席者	<u>委員</u> 笠原会長、中嶋副会長、小出委員、石田委員、松浦委員、徳本委員、梶原委員、森岡委員 <u>理事者</u> (上下水道局) 江原、賀川、蜂谷、神谷、熊野、西尾、亀井、安田、岡橋、大田、上山、河合 <u>庶務</u> (上下水道局) 巽、佐藤、平原、武田、中島、下別府、永安
次第	1 開会 2 会議の公開及び傍聴者の入場 3 議事 (案件1) 令和5年度東大阪市水道事業会計決算説明 (案件2) 令和5年度東大阪市下水道事業会計決算説明 (案件3) 令和5年度水道ビジョンの進捗報告 (案件4) 令和5年度下水道事業経営戦略の進捗報告 4 閉会
配布資料	資料-1 出席者名簿 資料-2 令和5年度水道事業会計決算説明 資料-3 令和5年度下水道事業会計決算説明 資料-4 令和5年度水道ビジョンの進捗報告 資料-5 令和5年度下水道事業経営戦略の進捗報告

2. 会議内容（要旨）

案 件	主な意見・質問	回 答 等
令和5年度 東大阪市水道事業会計 決算報告	<ul style="list-style-type: none"> 管路経年化率や管路更新率をみていると、年々管路更新を上回る速さで老化した管路の割合が多くなっていくと思うが、どう方向転換するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易的なデザインビルドという方法や合わせ工事等、色々な工夫をしながら、令和7年からは目標値1%を目指しており、着実に頑張っている。 目標の1%を達成しようと思えば、今の収入の中ではできないのが現状であり、水道料金の改定に踏み切っていくという考えである。
	<ul style="list-style-type: none"> 日本人は水道の大切さやありがたさをわかっていない。 水道に対して必要な経費がかかっている、その分を負担していただく必要があるということ、住民の方にもっとPRすることが必要。 水道水をそのまま美味しく飲める状態だと住民が認識していないので、もっとPRして、いかに水道水が良いものであって、水道料金の値上げは仕方ないと認識をいただけるようにしたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 皆様に水のありがたさというものを知っていただきたいと常々思っており、自治協議会の常任幹事会でもお話をさせていただいた。また、チラシを全戸に配布することを検討しており、「蛇口の上流」について、これからもしっかり周知させていただこうと考えている。 本市 YouTube に水道クイズを掲載し、水が美味しく飲める温度などをPRさせていただいた。
	<ul style="list-style-type: none"> 来年以降、水道料金が上がるということになると、改定後の料金回収率はどのように見込んでいるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> すべて水道料金に反映させて指標として達成することは可能だが、議会からも水道料金を激変することは避けるように言われている。いくつかある水道の指標のうち、料金回収率については、100%を超えるというのが基本的な考え方だと思っており、これまでに審議会に出した資料も達成するよう設定している。今回はあくまで令和5年度の経営状況となっているので、今後改善していく方向で現在ご審議いただいているという認識である。

案 件	主な意見・質問	回 答 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経常収支比率の説明で、料金回収率が相対的に低い。類似団体の平均値よりも低いと書いているが、どのような対応を講じていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経常収支比率の分子に含まれている営業収益を料金改定によってあげて、経常収支比率の方も上げていきたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料金が上がったことによって、未払いが増えた場合、料金回収率がさらに低下すると思うので、料金を回収するために努力されているのかを教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「料金回収率」の定義が、水道料金の徴収率ということではなく、水道事業の経営にかかる費用を水道料金でどれくらい賄えるのかなということを示す指標であり、水道料金の値上げを行えば、料金回収率は上がっていく。料金収納率で言うと、99.2%と、類似団体と比べて大きく上回っている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民には、（管路更新率）1%という表現は分かりにくい。市民向けの説明資料には、（管路）1mの更新にかかる費用や、更新しなとどのような影響が及ぼされるかなどの補足資料があれば良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのような課題認識に基づいて、現在進行形で、市民向けの広報資料の作成に努めている。広報はやり続けなければならないので、常に改善していければと思っている。
令和5年度東大阪市下水道事業会計決算報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ （25頁）管きょ改善率における類似団体は合流式下水道の団体であるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合流式下水道の団体ではなく人口規模等が類似する団体となる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合流式下水道と分流式下水道で管きょの更新時期等に違いがあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に更新時期等の違いはないと考えている。
令和5年度水道ビジョンの進捗報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉛製給水管はどれくらい残っているのか。 ・ 家庭の給水管を引き込んでいる部分に鉛管が使われているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成19年から鉛管解消計画という形で解消に向けて点検等を行っており、1万件ほどを徐々に解消していった。 ・ 水道本管から分岐されている給水管の、メーターから一次側（水道本管側）で鉛管が多く使われている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理体制の充実として様々な取り組みを行っているが、給水車の運転訓練は職員で行っているのか。また、消防団や自治協の協 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給水車の運転訓練は職員が参加しており、局単独で行っている。 ・ イベント等で給水車を持って行って給水体験等を行っており、

案 件	主な意見・質問	回 答 等
	<p>力などの市民との関わりはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害の際は住民自身が現場を回さないといけないこともあるので、自分たちが行わないといけないという意識をもってもらうための啓発もしたらどうか。 	<p>今後も拡大を考えていきたい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 市民の方に、いかに良い水を送っているかということをもう一度再認識していただくために、もっと広報してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間の飲料水を販売している会社は単価に広報費用が含まれているので、市とは広告や広報にかかる費用が圧倒的に違う。地道に、事実に基づいて、定量的に情報発信を続けていきたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 水道ビジョンの進捗状況としては、◎と○の比率がほぼ占めており、進捗評価としては、運営良好だと考える。 ポンプ場の建設が少し遅れているとのことなので、しっかりとスケジュールが遅延しないように取り組んでほしい。 	
令和5年度 下水道事業 経営戦略の 進捗報告	<ul style="list-style-type: none"> (別紙②20頁)「他会計繰入金からの脱却」の意味は。雨水についてはしっかりと要求する必要があるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去から浸水対策に巨額の投資を続けており、繰入額が大きくなっている。その負担を少しでも軽減する意味で脱却と表現している。
	<ul style="list-style-type: none"> 投資試算の見直しに際し、水道と同じようにデフレーターをかけているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 改めて必要な事業費を積上げており、一定の率はかけていない。今後何を適用させるかを含めて考えていく。
	<ul style="list-style-type: none"> デフレーターは上下水道で整合したものを適用するべきでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道それぞれで適用すべきもの、共通で適用すべきものを検討していく。